

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画

子ども学科は、「敬・愛・信」の建学の精神に則り、未来をつくる子どものために、豊かな人間性と社会性を兼ね備えた、保育・教育における総合的实践力を有する人材の育成を目的としており、その目的を達成するために以下の7つの教育目標を掲げています。

- (1) 多角的視野と総合的視野に裏付けされた思考と判断を持って保育が実践できる保育者を養成する。
- (2) 観察－分析－計画－実行のサイクルにより、向上的に保育が実践できる保育者を養成する。
- (3) 子どもの育ちを支えることができる、専門的知識と技術をもった保育者を養成する。
- (4) 日常的に保育者としての自覚を持ち、倫理観・道徳心のもと責任ある言動をとることができる保育者を養成する。
- (5) 子どもと共感できる、豊かな感性と情操を身につけた保育者を養成する。
- (6) 保育者としてのコミュニケーション能力を有し、職場において協働できる保育者を養成する。
- (7) 社会の一員としての教養を身につけ、生涯に渡り主体的に学ぶことのできる保育者を養成する。

この目的・教育目標に基づいて、教育課程の方針、学位授与の方針を編成し、カリキュラムマップを作成しています。そして、教育目標と各科目のねらいや内容を明確に関連付けたシラバスを作成しています。また、教育実習と保育実習を段階的に配置し、実習ごとに目標を設定しています。そして、これらの実習および実習の事前事後指導科目とその他の科目の配置を、学びの段階・実習の段階を踏まえた構成にしています。

このような「実習を核とした総合的カリキュラム」を構築し、実習・実習の事前事後指導科目と教養科目を含めた他の授業を有機的に結び付けた2年間の計画を立てています。